



各市町・地区子連におかれましては、緊急事態宣言発令中にもかかわらず市町代表員、地区委員、理事監事候補者の報告をいただき、誠にありがとうございました。

おそらく今年度の子ども会活動については、どの市町子連も異例のスタートを切らざるを得ず、かなりのご苦労があったのではないかと拝察いたします。そんな中、もしかすると他の市町子連や県子連についての情報を共有すると有益なのではないかと考え、この通信を始めました。

今後、ご意見や問い合わせなど何でもよいので、情報共有にご協力をいただければ幸いに存じます。



県子連会費(230 円)の集金に苦労した！

…自治振興会からまとめて受け取る、
市町からまとめて受け取る、など色々あるようですが、ある市では今年度次のように集金したそうです。
☞ 4 月下旬の市子連総会において集金をしていたが、今年度は書面による決議となったため、予定日に広く受付場所を設け、書面決議書と集金を一度に集めた。(結果的には実現しなかったらしいのですが参考になりますね)

安全共済について

…年度当初に提出した計画が変更になった場合は、遅くとも変更した活動を実施する前日までに、変更を反映させた「年間行事計画」を提出すれば、安全共済の対象となります。会員の入会も随時可能です。前日の 14 時までに手続き(入金含む)していただければ、翌日から対象となります。※子ども会活動が無ければ可能な分だけの加入手続きで結構です。後日、追加手続きで補ってください。

役員の決め方は？

…ローテーションや充て職で決めているので、悩むことは無いという地区や、数年先の子ども会を見通した上で次の人材育成を実現しているという市町など多様です。それぞれ長短があるようです。

◆ローテーション、充て職の場合

1 年交代が多く、前年度のレガシーが受け継がれない短所がある。しかし、自動的に役職が決まるので、子ども会組織活動が途切れることがない。

◆時間をかけて人材育成をする場合

時間を要するが、活動の継続と発展が期待できる。最近はやりの時代の変化が大きく、後継者不足が課題である。

県子連会長より

昨年度の総括も十分に出来ないまま、コロナウイルス対策で緊急事態宣言が出され、活動自粛の中で新年度を迎えることになりました。体験活動を通して子ども達の成長を促し・見守るという子ども会活動は、集まることや触れ合うことを禁じられている現状では、なすすべがなく、皆さんも歯がゆく思っているんじゃないでしょうか。

それぞれの子ども会と同様に県子連も今年度の活動を大きく見直さざるを得ません。子ども達に、まずは勉強できる環境が戻ってくること。その後に笑顔あふれる子ども会活動の一つでも多く提供できればと思います。皆がアイデアを持ち寄り、パワーアップして活動が再開できる日を楽しみにしています。

福井県子連会長 山崎 暢子

